

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成30年2月8日 (2018.2.8)

【公開番号】特開2016-127524(P2016-127524A)
 【公開日】平成28年7月11日 (2016.7.11)
 【年通号数】公開・登録公報2016-041
 【出願番号】特願2015-1554(P2015-1554)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 B

G 0 3 B 17/02

G 0 6 F 3/048 6 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成29年12月19日 (2017.12.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 1 0 】

上記目的を達成するために、請求項 1 記載の撮像装置は、撮像手段と、前記撮像手段における撮像設定を調整する撮像準備手段と、ユーザからの指示を受け付けるタッチディスプレイと、前記タッチディスプレイに対するタッチダウン操作に応じて、前記撮像準備手段に、撮像設定の調整を行なわせ、前記タッチダウン操作に続いて特定のタッチ操作がなされた場合に、前記撮像準備手段による前記調整が行われる前の撮像設定に戻すように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

撮像手段と、
前記撮像手段における撮像設定を調整する撮像準備手段と、
ユーザからの指示を受け付けるタッチディスプレイと、
前記タッチディスプレイに対するタッチダウン操作に応じて、前記撮像準備手段に、撮像設定の調整を行なわせ、前記タッチダウン操作に続いて特定のタッチ操作がなされた場合に、前記撮像準備手段による前記調整が行われる前の撮像設定に戻すように制御する制御手段と、
を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】
前記制御手段は、前記調整が行われる前の撮像設定に戻した後、前記特定のタッチ操作に対応する処理を実行するように制御することを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記撮像準備手段は、前記タッチダウン操作があった位置に表示されている被写体に基
づいて、撮像設定を調整することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記撮像準備手段は、前記被写体が動体の場合、前記被写体が前記タッチディスプレイ
に表示されている間中、前記撮像設定を前記被写体に基づいて調整することを特徴とする
請求項 3 記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記タッチダウン操作によって特定される第 1 の被写体と前記特定のタッチ操作によっ
て特定される第 2 の被写体とを同定する同定手段を、更に有し、

前記同定手段による同定の結果、前記第 1 及び第 2 の被写体が同じ被写体である場合、
前記制御手段は、前記撮像準備手段による前記調整が行われる前の撮像設定に戻す動作、
及び前記調整が行われる前の撮像設定に戻した後に行われる前記特定のタッチ操作に対応
する処理を実行しないように制御することを特徴とする請求項 3 又は 4 記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記撮像設定は、フォーカス、露出及びホワイトバランスのうち少なくとも 1 つである
ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記撮像設定の回復には、前記撮像設定における特定の設定値を回復させること、又は
前記撮像設定が特定の被写体に適合するように回復させることが含まれることを特徴とす
る請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記特定のタッチ操作は、特定の第 1 の処理に対応するタッチジェスチャー操作又は特
定の第 2 の処理に対応するマルチタッチ操作であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のい
ずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 9】

前記タッチジェスチャー操作は、前記タッチダウン操作に続いて、ユーザが、前記タッ
チディスプレイにタッチしたままタッチダウン位置を所定の距離以上移動させる操作であ
ることを特徴とする請求項 8 記載の撮像装置。

【請求項 10】

撮像工程と、

撮像準備手段が、前記撮像工程における撮像設定を調整する撮像準備工程と、

ユーザからの指示を受け付けるタッチディスプレイ工程と、

前記タッチディスプレイ工程におけるタッチダウン操作に応じて、前記撮像準備手段に
対し、撮像設定の調整を行なわせ、前記タッチダウン操作に続いて特定のタッチ操作がな
された場合に、前記撮像準備手段による前記調整が行われる前の撮像設定に戻すように制
御する制御工程と、

を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 11】

撮像装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記撮像装置の制御方法は、

撮像工程と、

撮像準備手段が、前記撮像工程における撮像設定を調整する撮像準備工程と、

ユーザからの指示を受け付けるタッチディスプレイ工程と、

前記タッチディスプレイ工程におけるタッチダウン操作に応じて、前記撮像準備手段に
対し、撮像設定の調整を行なわせ、前記タッチダウン操作に続いて特定のタッチ操作がな
された場合に、前記撮像準備手段による前記調整が行われる前の撮像設定に戻すように制
御する制御工程と、

を有することを特徴とするプログラム。

【請求項 12】

請求項 1 1 記載のプログラムを格納することを特徴とするコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。